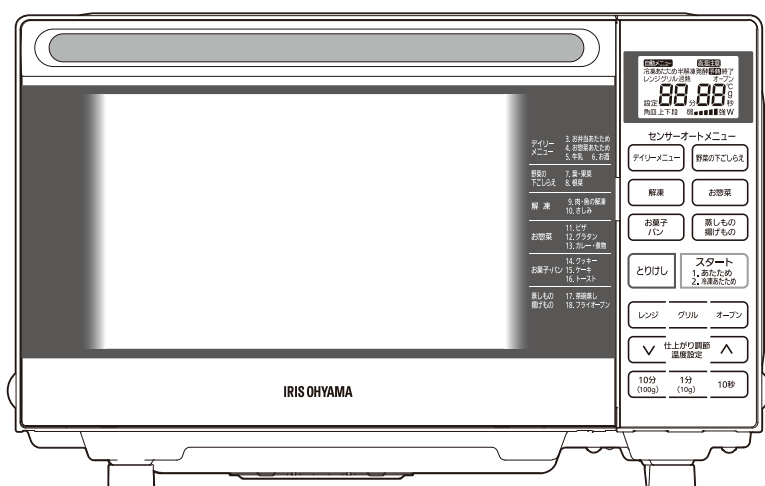


オーブンレンジ

MO-F1801-WPG

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
加熱のしくみ	6
使える容器・使えない容器	7
各部の名称	9

取り扱いかた

準備	12
使いかた 基本	13
使いかた センサーオートメニュー	
あたため・冷凍あたため	15
デイリーメニュー	16
野菜の下ごしらえ	17
解凍	18
トースト	19
その他	20
センサーオートメニュー一覧	22
使いかた 手動メニュー	
レンジ	23
グリル	26
オーブン	27
お手入れ	31
クッキングガイド	32

こんなときには

故障かな？と思ったら	36
仕様	38
保証とアフターサービス	39
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。

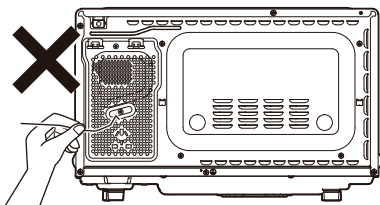


危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。



- 吸気口・排気口や製品のすきま、庫内の開口部に、異物を入れない
火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用后1分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



アースを
必ず接続

- **アースを必ず取り付ける**
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種接地工事）が義務付けられています。

- **湿気の多い場所**
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
- **水気のある場所**
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



- **水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する**
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

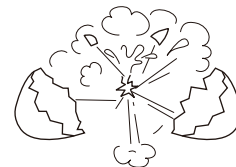


- **アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
爆発・火災の原因になります。

レンジ加熱時は



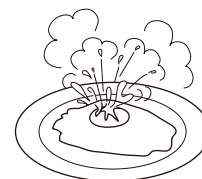
- **卵は必ず割りほぐしてから加熱する**
- **殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる**
- **びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する**
破裂して、けがややけどの原因になります。



- **乳児のミルクやベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後かきまぜて温度を確認する**
やけどのおそれがあります。



- **缶詰・瓶詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない**
破裂のおそれがあります。必ず別容器に移し替えてから加熱してください。
- **ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない**
爆発して大変危険です。



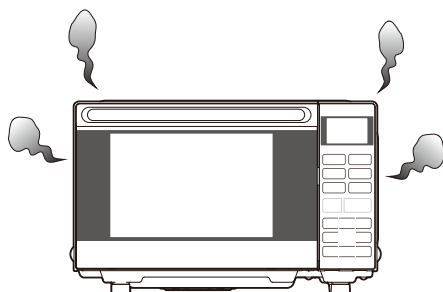
調理中は



- **調理中はそばを離れない**
食材が発煙・発火することがあるので、注意してください。



- **繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意する**
ラップをする、加熱しすぎないなど注意して調理してください。



- **屋外で使用しない**
- **壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない**
- **畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない**
火災の原因になります。

飲みものなどの加熱時は



- **加熱しすぎないように注意する**
- **加熱前・加熱後はスプーンなどでかきまぜる**
飲みものや油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱しすぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。



水ぬれ禁止

- **水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない**
- **本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない**
火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
- 扉に無理な力を加えない
変形して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吸気口・排気口をふさがない
火災の原因になります。



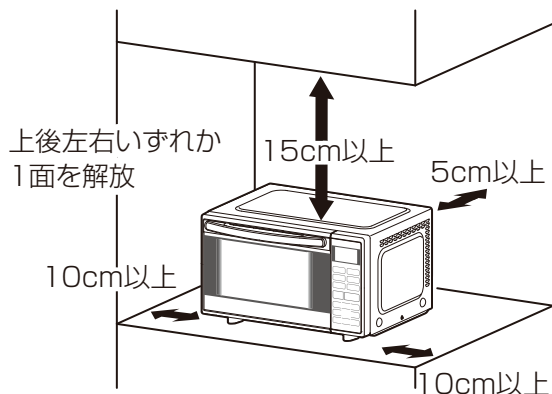
注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

安全に設置する



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。
- 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、過熱・火災の原因になります。風通しが良く、水などのかからないところに設置してください。



- 肩より高い位置に設置しない
食材を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。



- 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
- 扉が損傷したら使用しない
感電や電波漏れによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店または修理専用コールへご依頼ください。
- 扉にものをはさんだまま使用しない
誤動作して、電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。



- 衣類の乾燥や、ふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない
火災や異常動作の原因になります。
- 業務用など家庭用以外の用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。



- 本体の上にもものを置かない
- 本体の下にもものを置かない
火災の原因になります。

加熱禁止



- レンジで金属容器や金串は使用しない
放電・火花・過熱・やけどの原因になります。
アルミホイルを使用する場合は、庫内壁面に近づけないよう注意してください。
- 鮮度保持剤（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない
火災の原因になります。
- 庫内が空のままレンジ加熱しない
過熱して火災の原因になります。

加熱中・加熱後は



接触禁止

- 高温になっている部分にさわらない
加熱中・加熱直後は、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。
食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



高温注意

- ラップを外すときは注意する
蒸気でやけどするおそれがあります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 電源コードは本体の下を通さない
火災の原因になります。

食材が発煙・発火した場合は



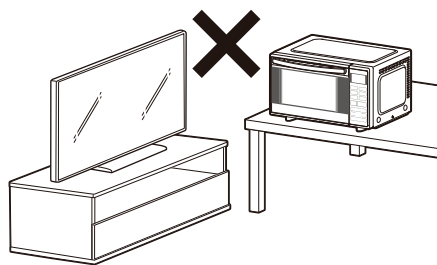
- 扉を開けない
食材が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。
また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。



- 庫内は常にきれいにする
発火するおそれがあります。
また、庫内が損傷すると、電波漏れなど危険な状態になるおそれがあります。

使用上の注意

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- 無線LAN機器から離してください。
無線LANの通信機能が低下する場合があります。

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
扉を開けたままにすると、10分後に庫内灯は消灯しますが、電源は切れません。
- 扉を閉めた状態で、何も操作をしないで約5分経過すると、電源が切れます。
- このレンジは、ボタンを操作するとお知らせ音が鳴ります。調理終了も音でお知らせします。（音を消すこともできます。）
- 取り忘れ防止のために、調理終了後扉を開けないと「ピッ」と5回鳴ってお知らせします。（これを1分ごとに5回繰り返した後、電源が切れます。）

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

加熱のしくみ

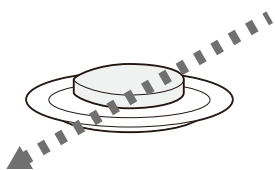
本製品は、レンジ加熱・ヒーター加熱の機能を持った調理器です。

レンジ加熱

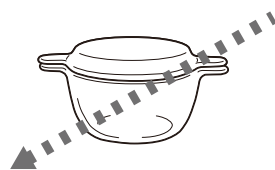
庫内に電波が放射されると、食品に含まれる水分子に吸収され加熱されます。



水分のある食品は電波を吸収します。



水分が凍っていると電波が吸収されにくくなります。



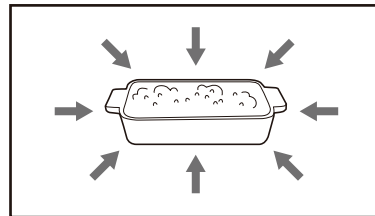
ガラス容器、陶器などは電波が透過し、吸収されません。



金属製の器は電波を反射します。
(火花が出ることがあります。)

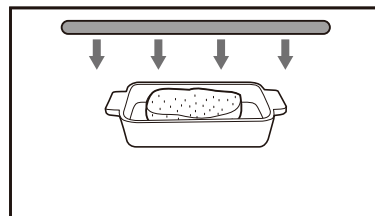
ヒーター加熱（オーブン）

上下にあるヒーターで庫内の温度を一定に保ち、じっくり焼き上げます。中までよく火を通したいときに使います。

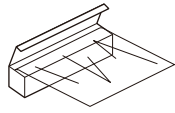
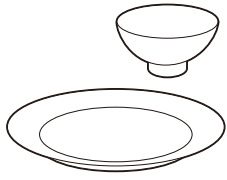


ヒーター加熱（グリル）

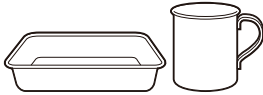
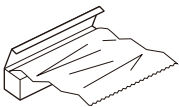
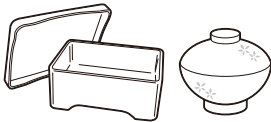
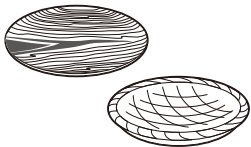
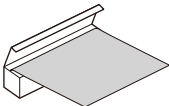
上ヒーターのみで、高温で一気に焼き上げます。火の通りやすいものや、表面に焦げ目をつけたいときに使用します。



使える容器・使えない容器

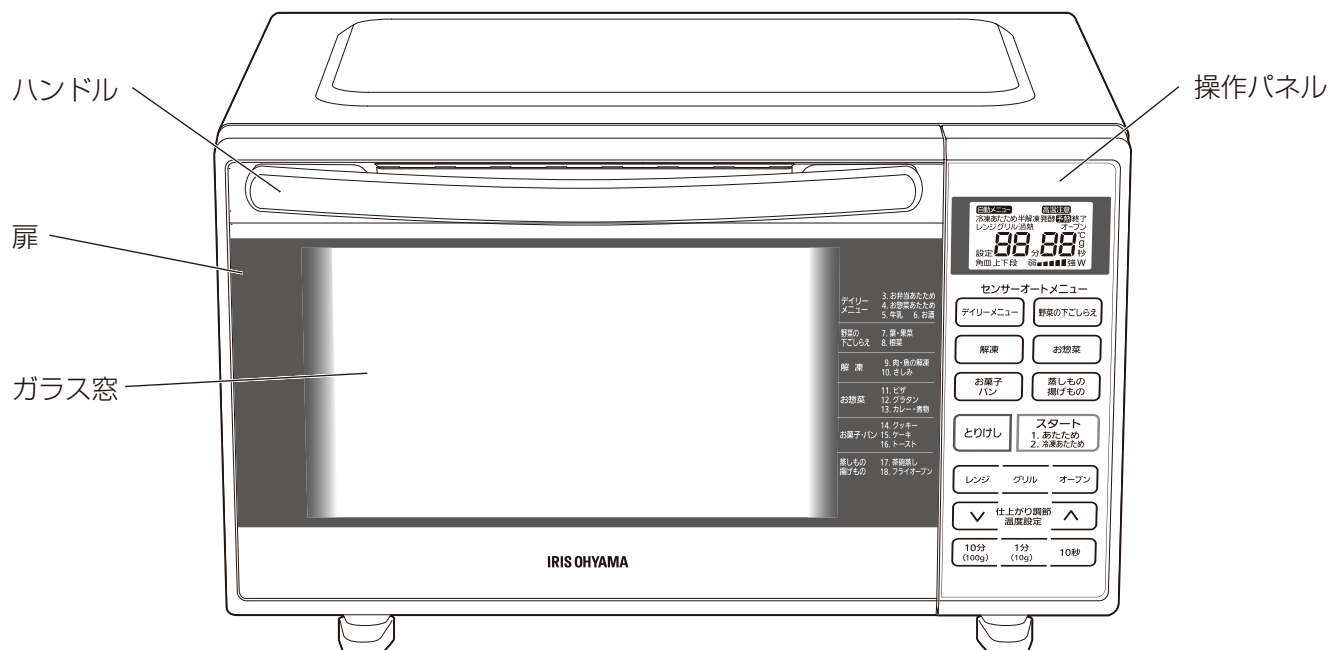
容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)
付属の角皿 		✕ 使えません	○ 使えます
ガラス	耐熱性がある 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。	
	耐熱性がない 	✕ 使えません ・カットグラス・強化ガラスも使えません。	
プラスチック	耐熱性がある (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・金属ねじを使用しているものは使えません。	✕ 使えません ・ただし、オープン調理で設定温度が耐熱温度以下であれば使えます。
	耐熱性がない (耐熱温度：140℃未満) 	✕ 使えません ・耐熱性容器でも、ふたは耐熱性でないことがあるので確認してください。 ・熱で変形するものも使えません。(スチロール・ポリエチレン (PE) など) ・ただし、レンジ加熱の解凍や、オープン加熱の発酵などでは使えます。	
	ラップ (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるので使えません。	✕ 使えません ・ただし、オープン加熱の発酵では使うことがあります。
陶磁器	耐熱性がある 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。 ・金銀模様・絵柄・ひび模様のある器は、火花が出たり、傷んだりすることがあるので使えません。	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。
	耐熱性がない 		✕ 使えません

使える容器・使えない容器 つづき

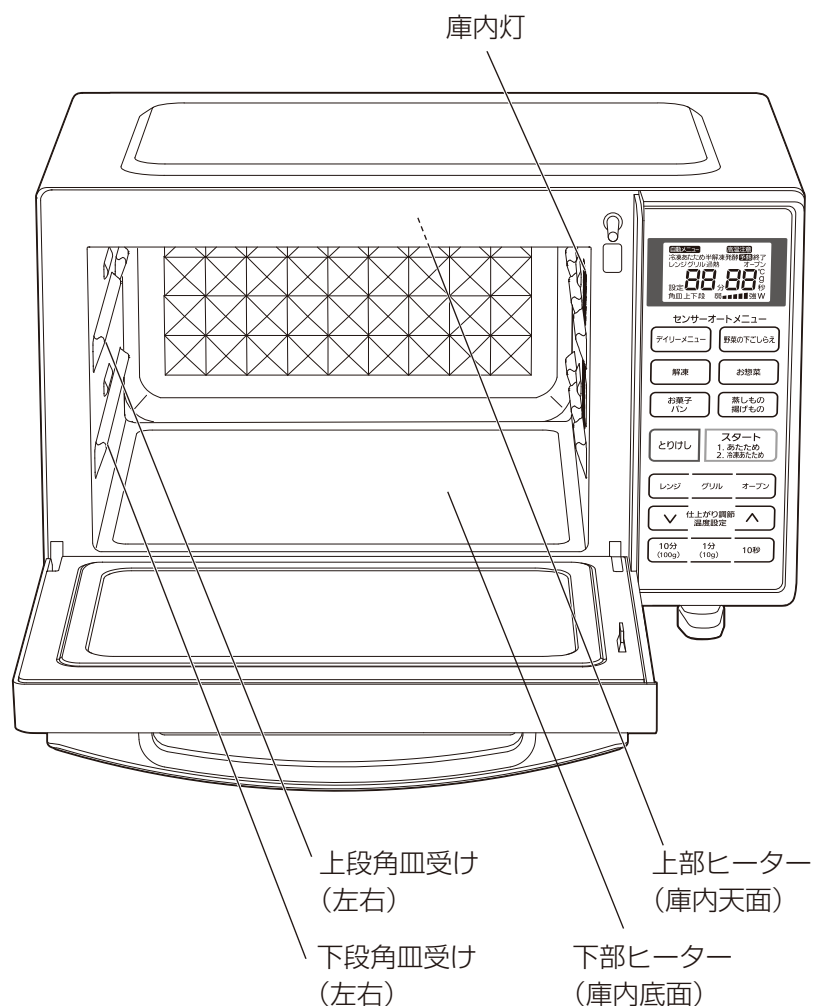
容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)
金属	アルミ・ほうろうなどの金属容器 	✕ 使えません 金串、金網、金箔・銀箔のフィルムやテープ、針金の入ったものも使えません。	○ 使えます
	アルミホイル 	△ なまものの解凍などで部分的に使うことがあります。(庫内壁面に近づけたり、鋭利な部分を作らないようにしてください。)	○ 使えます ただし、ヒーターに直接触れないようにしてください。また、必ず付属の受け皿の上で使用してください。
紙・木・竹	漆器 	✕ 使えません 塗りがはげたり、ひび割れしたりすることがあります。	
	紙・木・竹 	✕ 使えません - 加熱しすぎると燃えたりすることがあります。 - 釘や針金など金属を使用しているものは使えません。	✕ 使えません
	クッキングペーパー クッキングシート クッキングバッグ 	○ 使えます ただし加熱しすぎると燃えたりすることがあります。	△ 発煙・発火することがあるので、注意して使用してください。

各部の名称

■正面

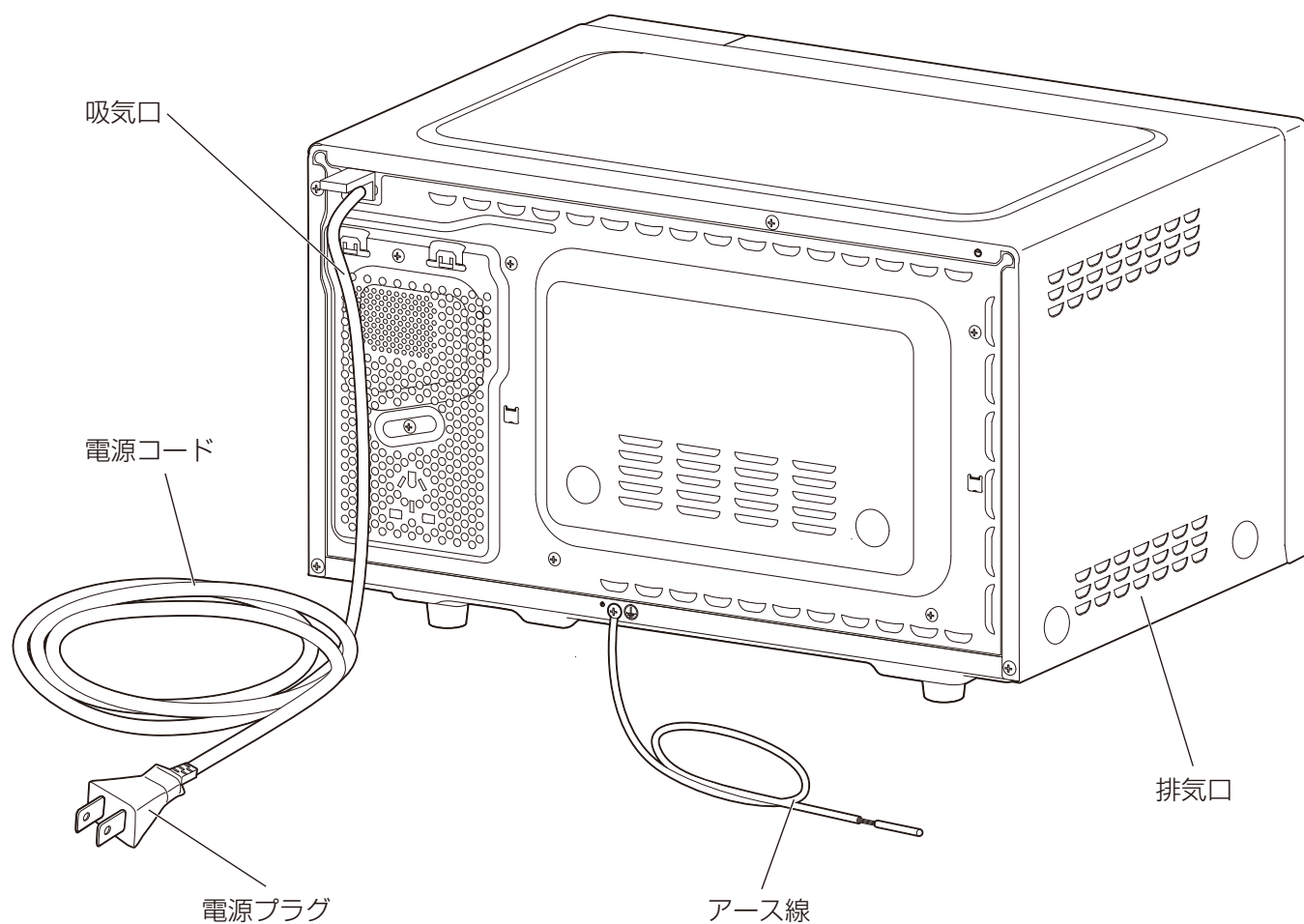


■庫内



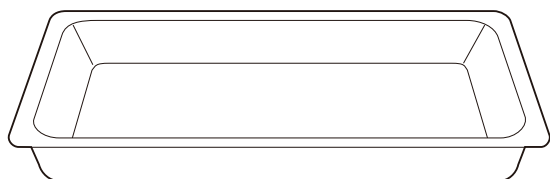
各部の名称 つづき

■背面



■付属品

角皿（金属製）



■操作パネル

表示部

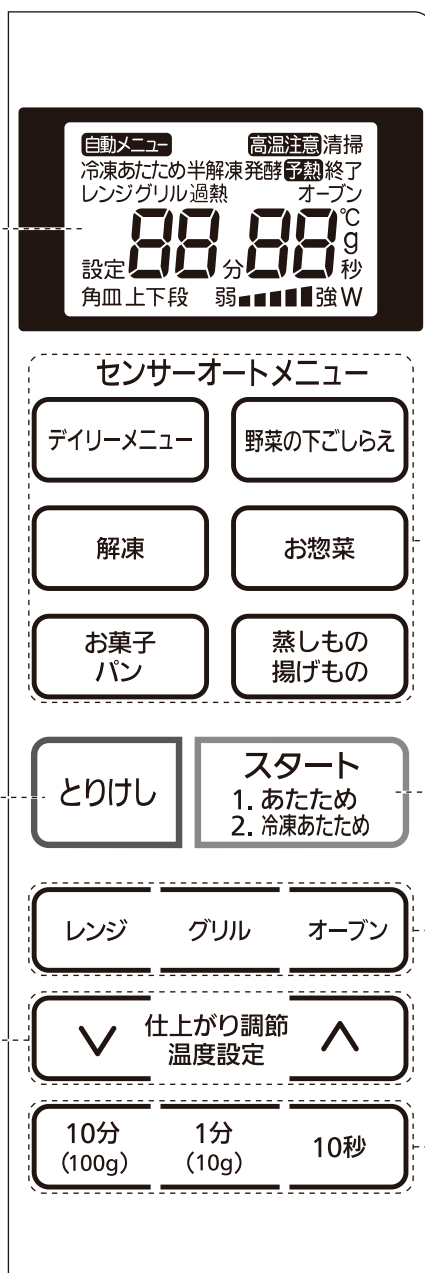
加熱時間やメニュー番号などが表示されます。

とりけしボタン

設定を取り消したり、加熱を途中で止めるときに押します。
(→P13～14)
長押しすると、お知らせ音の切／入を切り替えできます。
(→P13)

仕上がり調節／温度設定ボタン

センサーオートメニューの仕上りの調節や、手動メニューでオーブンの調理温度の設定に使用します。



センサーオートメニューボタン

センサーオートメニュー（3～18）を選びます。
(→P16～21)

スタートボタン

ボタンを押すと加熱がスタートします。

手動メニューボタン

手動で加熱するとき、加熱の種類を選びます。
(→P12、23～30)

時間・重量設定ボタン

手動メニューで、時間または重量を設定するときに使います。

準備

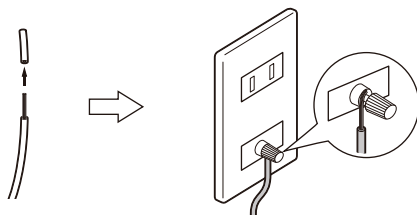
■設置

1 4ページの「安全に設置する」にしたがって、設置する

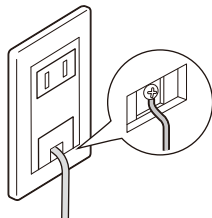
2 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

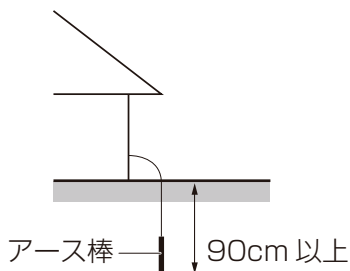


- ・ふた付きの場合は開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

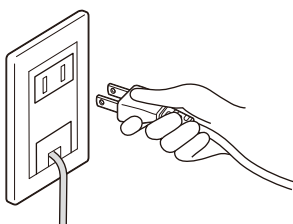
- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

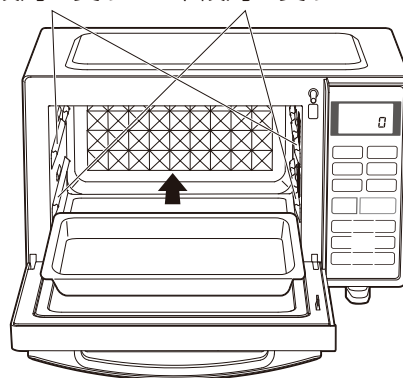


■から焼き

- ヒーター加熱（オーブンまたはグリル）を初めて使用するときに、煙やにおいが出ることがあるので、使用を始める前から焼きしてください。
- から焼きするときは、必ず換気してください。また、小鳥や小動物は別な部屋に移してください。

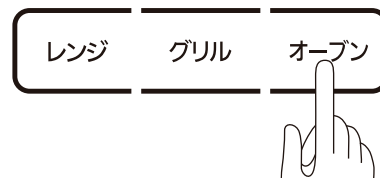
1 角皿を上段または下段の角皿受けにセットする

上段角皿受け 下段角皿受け



2 扉を閉め、手動メニューのオープンボタンを2回押す

- ・設定・角皿・オープン・170℃が表示されます。

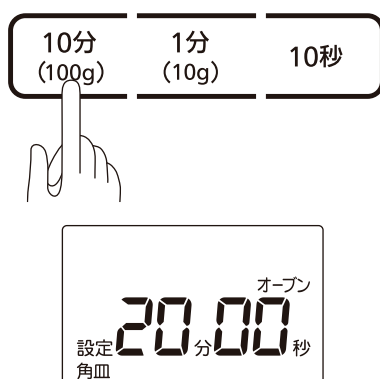


※操作を取り消すとき、加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

3 仕上がり調節／温度設定ボタンで温度を200℃に設定する



4 時間・重量設定ボタンで、時間を20分に設定する



5 スタートボタンを押す

- から焼きがスタートします。



- 表示部に残り時間が表示されます。
- 終了すると、「ピッ ♪」と5回鳴ってお知らせします。
- ※ 1回のから焼きでにおいを取りきれない場合でも、何度か調理をするとにおいはしなくなります。

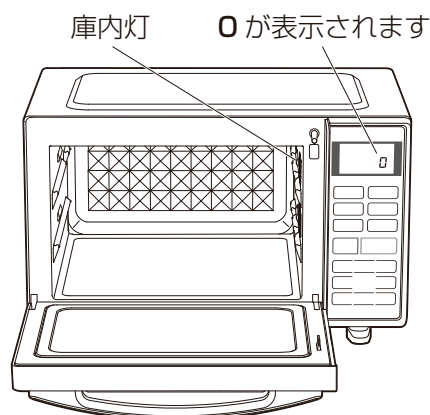


注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面、角皿が熱くなりますのでやけどに注意してください。

■ 電源を入れるには

- 扉を開けると電源が入ります。
- 扉を開けたときは、庫内灯が点灯します。



- ※ 扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ※ 扉を開けたままだと、約10分で庫内灯は消灯しますが、電源は切れません。

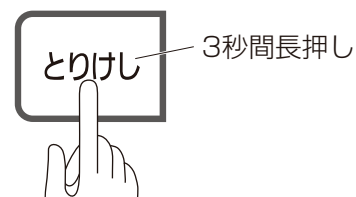
■ 操作を取り消すには

- 操作中にとりけしボタンを押すと、操作は取り消されて最初の状態に戻ります。
- 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。



■ お知らせ音を切ったり、入れたりするには

- 表示部に0が表示されているときに、とりけしボタンを3秒以上長押ししてください。長押しするたびに、お知らせ音の切/入が切り替わります。

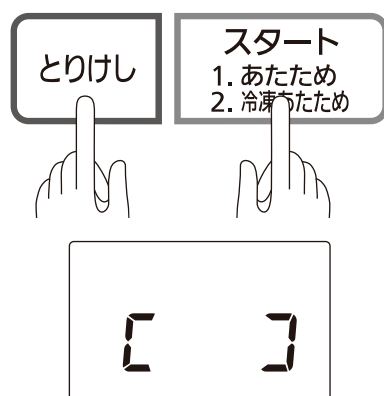


■チャイルドロック

子どものいたずら事故を防ぐために、チャイルドロックをかけることができます。

チャイルドロックをかけるには。

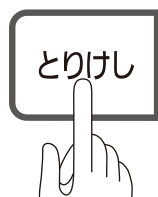
- とりけしボタンを押しながらスタートボタンを押してください。
- 表示部に[]が表示されます。
- ※ スタートボタンを先に押すと加熱がスタートしてしまいます。とりけしボタンを先に押すようにしてください。



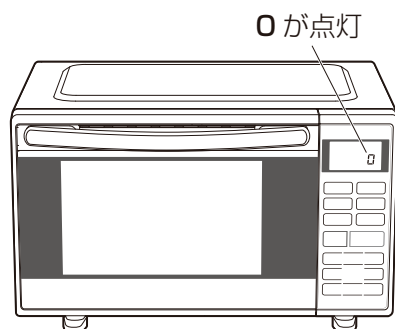
- 再度とりけしボタンを押しながらスタートボタンを押すと、チャイルドロックは解除されます。

■加熱を停止するには

- センサーオートメニューで残り時間が表示される前にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。
- 一時停止中にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。

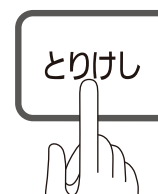


- センサーオートメニューで残り時間が表示される前に扉を開けると、加熱は停止して最初の状態に戻ります。

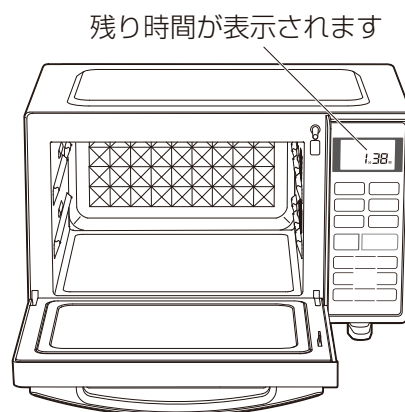


■加熱を一時停止するには

- センサーオートメニューでは、センサーが働くと残り時間が表示されるものと、最初から残り時間が表示されるものがあります。手動メニューは最初から残り時間が表示されます。残り時間の表示中にとりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。



- 残り時間が表示されている場合は、加熱の途中で扉を開けたときも、加熱が一時停止します。



- 扉を閉めてスタートボタンを押すと加熱が再開します。

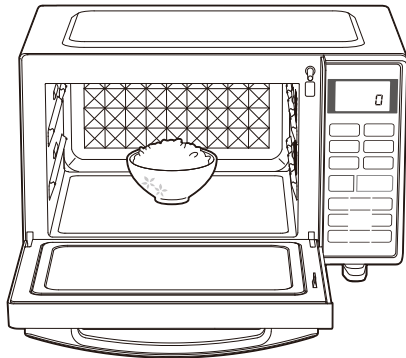


使いかた センサーオートメニュー（あたため・冷凍あたため）

食品のあたためり具合を検知して自動で加熱します。

1 食品を入れる

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品を耐熱性の容器に入れて庫内に入れ、扉を閉めます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



※ごはんはラップをせず、固めのときは水をふりかけてください。

- レンジ加熱を使用します。付属の角皿・金属の容器は使えません。（→P7～8）



警告

- 弁当は、調味料の容器・まるごとのゆで卵・アルミカップなどは取り出してから加熱してください。



注意

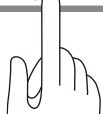
- あたため・冷凍あたためは、蒸気を検知して自動加熱します。ラップをきっちりかぶせたり、ぴっちりした蓋などを使用すると、蒸気を検知できず、過熱することがあります。
- 飲みものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかきまぜてください。

2 スタートボタンを押す

- 1回押すと：あたため（冷蔵品や常温品のあたため）
- 2回押すと：冷凍あたため（冷凍品のあたため）
- スタートボタンを1回押すと、1と表示され、冷蔵品や常温品のあたためがスタートします。

スタート

1. あたため
2. 冷凍あたため



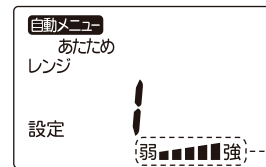
- 20秒以内にスタートボタンを再度押すと、2と表示され、冷凍品のあたために切り替わって加熱されます。



- 20秒以内にスタートボタンを押すたびに、1（あたため）と2（冷凍あたため）が切り替わります。

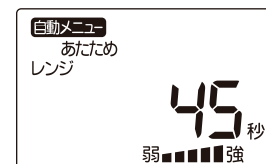
3 必要に応じて仕上がり調節／温度設定ボタンで調節する

- 仕上がり調節表示が点滅している間（20秒以内）は、仕上がり調節／温度設定ボタンで仕上がりの強弱を調節できます。



仕上がり
調節表示

- センサーが働くと残り時間が表示されます。



- ※残り時間表示中は、とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。

- 加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください

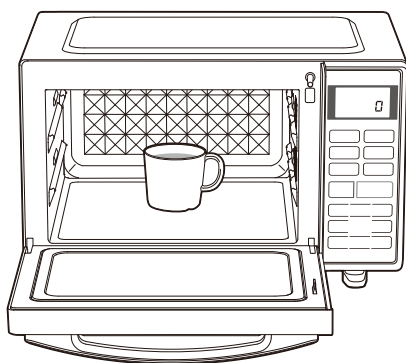
使いかた センサーオートメニュー（デイリーメニュー）

3（お弁当あたため）と4（お惣菜あたため）は、食品のあたため具合を検知して自動で加熱します。

5（牛乳）と6（お酒）は、分量設定に合わせてあたためます。

1 食品を入れる

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて庫内に入れ、扉を閉めます。
- ・食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



●レンジ加熱を使用します。付属の角皿・金属の容器は使えません。（→P7～8）



注意 ●飲みものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかきまぜてください。

2 デイリーメニューを選ぶ

- ・デイリーメニューボタンを押すたびにメニューが切り替わります。

デイリーメニュー



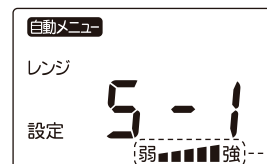
表示	ボタン	メニュー	分量
3	デイリーメニュー	お弁当あたため	—
4		お惣菜あたため	—
5-1		牛乳	1杯
5-2			2杯
5-3			3杯
6-1		お酒	1杯
6-2			2杯
6-3			3杯

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり調節／温度設定ボタンで調節する

- ・仕上がりの強弱が調節されます。



仕上がり調節表示

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートします。



※残り時間が表示される前にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。

- ・5（牛乳）と6（お酒）は、10秒後に残り時間が表示されます。
- ・3（お弁当あたため）と4（お惣菜あたため）は、センサーが働くと残り時間が表示されます。



※残り時間表示中は、とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。

一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。

- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

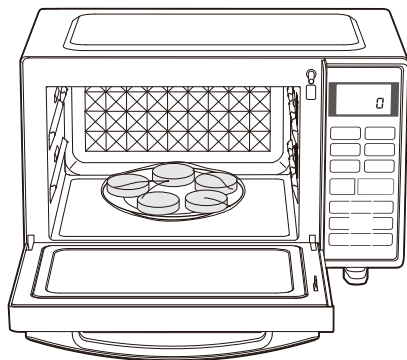
●加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた センサーオートメニュー（野菜の下ごしらえ）

食品の出来上がり具合を検知して自動で加熱調理します。

1 食品を入れる

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 庫内中央に置いて、扉を閉めます。



- レンジ加熱を使用します。付属の角皿・金属の容器は使えません。（→P7～8）
- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 調理できる分量は、100～500gです。
- 食材は耐熱皿にできるだけ重ならないように並べ、ラップでおおいます。
- 油分を含む食材を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えるおそれがあるので注意してください。



注意

- 野菜の下ごしらえは、蒸気を検知して自動調理します。ラップをきっちるかぶせたり、ぴっちりした蓋などを使用すると、蒸気を検知できず、過熱することがあります。

2 野菜の下ごしらえメニューを選ぶ

- 野菜の下ごしらえボタンを押すたびにメニューが切り替わります。



表示	ボタン	メニュー	分量
7	野菜の下ごしらえ	葉・果菜	—
8		根菜	—

※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり調節／温度設定ボタンで調節する

- 仕上りの強弱が調節されます。



仕上がり調節表示

4 スタートボタンを押す

- 加熱がスタートします。



※ 残り時間が表示される前にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。

- センサーが働くと残り時間が表示されます。



※ 残り時間表示中は、とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。

一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。

- 加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



警告

- 繊維質の多い食材を加熱するときは、発煙・発火することがあるので注意してください。



注意

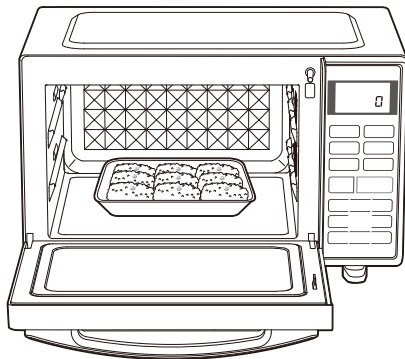
- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。

使いかた センサーオートメニュー（解凍）

冷凍食品やさしみを分量設定に合わせて解凍します。

1 食品を入れる

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品のラップは外し、発泡スチロールのトレーにのせたまま庫内に入れ、扉を閉めます。
- ・発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
- ・食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



- レンジ加熱を使用します。付属の角皿・金属の容器は使えません。（→P7～8）
- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 解凍できる分量は、100～500gです。
- 解凍しかかっている食材は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- 少量の食品（100g未満）は、煮えや変色のおそれがあるので解凍はできません。
- 食材の細い部分や薄い部分にアルミホイルを巻くと、煮えや変色をおさえることができます。



注意

- アルミホイルを使うときは、庫内壁面に近づけないでください。また鋭利な部分を作らないでください。火花が出ることがあります。
- 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがあるので、加熱のしすぎに注意してください。

2 解凍のメニューを選ぶ

- ・解凍ボタンを押すたびにメニューが切り替わります。



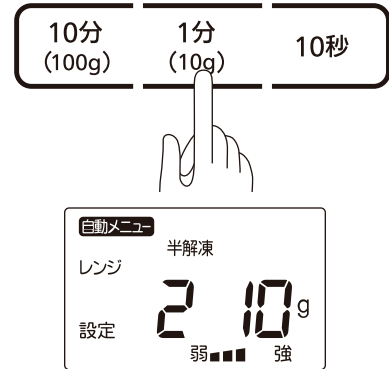
表示	ボタン	メニュー	分量
9	解凍	肉・魚の解凍	—
10		さしみ	—

- ・9（肉・魚の解凍）は**解凍**、10（さしみ）は**半解凍**が表示されます。

※操作を取り消すときは**とりけし**ボタンを押してください。

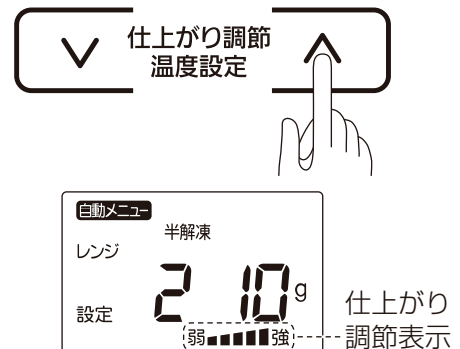
※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間・重量設定ボタンで重量を設定する



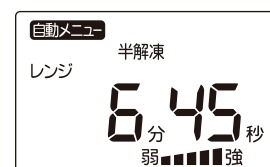
4 必要に応じて仕上がり調節／温度設定ボタンで調節する

- ・仕上がりの強弱が調節されます。



5 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



※**とりけし**ボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。

一時停止中は**スタート**ボタンを押すと加熱を再開します。

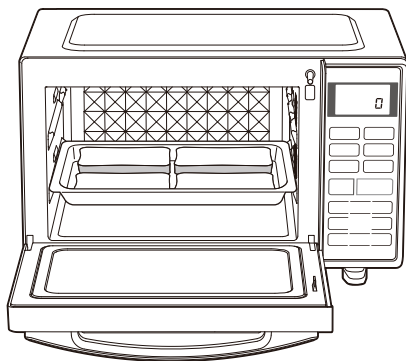
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。

使いかた センサーオートメニュー（トースト）

食パンの枚数に応じてトーストを焼きます。

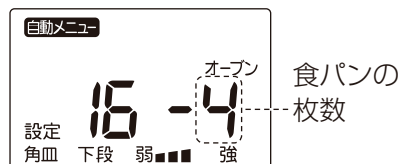
1 食パンを角皿にのせ、下段にセットする

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



2 お菓子 パンボタンでトーストのメニューを選ぶ

- ボタンを押すたびにメニューが切り替わります。（食パンの枚数に応じて16-1～16-4を選んでください。）

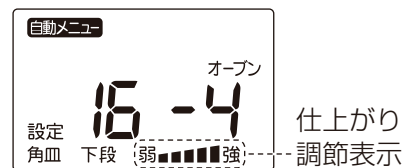


※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり調節／温度設定ボタンで調節する

- 仕上がりの強弱を調節できます。
- 標準は6枚切りです。8枚切りや4枚切りなどは、厚さに応じて調節してください。
- 糖分や油脂分の多いパンは濃く焼けるなど、パンの種類や大きさによって焼き色が変わります。仕上がりをしながら調節してください。



4 スタートボタンを押す

- 調理がスタートし、残り時間が表示されます。

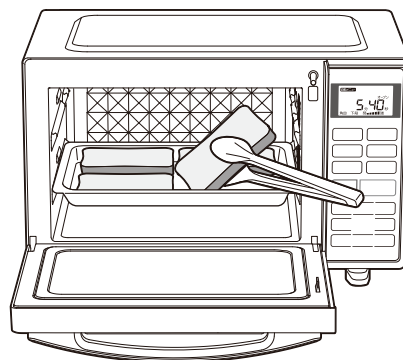


※ とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。

一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。

5 お知らせ音がなったら、食パンを裏返す

- 上面が焼けると「ピッ♪」と2回鳴ってお知らせします。扉を開けて食パンを裏返してください。



- 加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。
- 冷凍食パンの場合は色が薄く焼けます。
- 焼き加減が足りないときは、手動メニューのグリルを使用して、様子を見ながら調理してください。



注意

- 加熱後は角皿が熱くなるので、トーストを取り出すときに注意してください。
- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるのでやけどに注意してください。

使いかた センサーオートメニュー（その他）

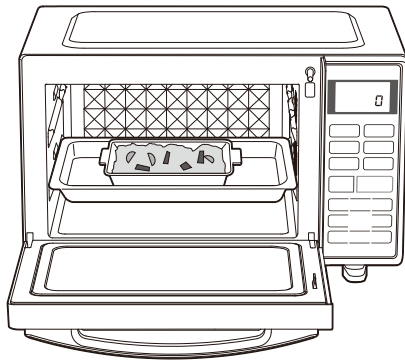
■予熱なしメニュー

12（グラタン）・13（カレー・煮物）は、選んだメニューを自動で調理します。

18（フライオーブン）は、冷蔵の揚げものをあたためます。

1 食品を入れる

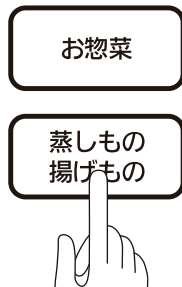
- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。
- 下ごしらえが必要なものは、「クッキングガイド」にしたがってあらかじめ済ませてください。



- 12（グラタン）は、耐熱皿に入れた食品を角皿にのせ、下段にセットしてください。（→P32）
- 13（カレー・煮物）は、レンジ加熱を使用します。付属の角皿・金属の容器は使えません。耐熱容器に食品を入れ、庫内中央に置いてください。（→P33）
- 18（フライオーブン）は角皿にクッキングシートを敷いて食品をのせ、下段にセットしてください。

2 お惣菜・蒸しもの 揚げもののボタンでメニューを選ぶ

- ボタンを押すたびにメニューが切り替わります。



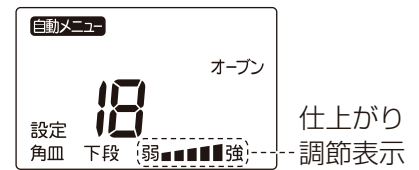
表示	ボタン	メニュー	分量
12	お惣菜	グラタン	2人前
13		カレー・煮物	2人前
18	蒸しもの 揚げもの	フライオーブン	200g

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり調節／温度設定ボタンで調節する

- 仕上がりの強弱を調節できます。



4 スタートボタンを押す

- 調理がスタートし、残り時間が表示されます。



※とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。

一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。

- 加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。

●かき揚げは焦げやすいので、必ず様子を見ながら加熱してください。



注意

●加熱後は角皿・容器などが熱くなるので、食品を取り出すときはミトンやふきんなどを使用してください。

●加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるのでやけどに注意してください。

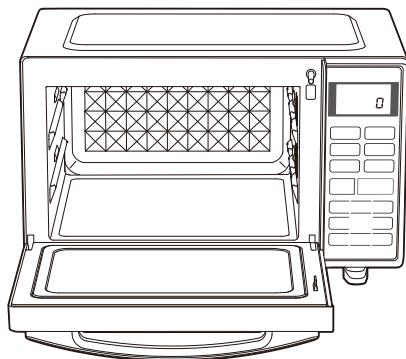
■ 予熱ありメニュー

11 (ピザ) は、市販の冷蔵ピザを調理します。

14 (クッキー)・15 (ケーキ)・17 (茶碗蒸し) は、選んだメニューを自動で調理します。

1 扉を開けて電源を入れる

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品を入れずに扉を閉めます。



2 お惣菜・お菓子 パン・蒸しもの 揚げものボタンでメニューを選ぶ

- ボタンを押すたびにメニューが切り替わります。



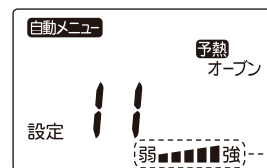
表示	ボタン	メニュー	分量
11	お惣菜	ピザ	1枚 (約250g)
14	お菓子 パン	クッキー	角皿1枚分
15		ケーキ	1個
17	蒸しもの 揚げもの	茶碗蒸し	4人前

※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり調節／温度設定ボタンで調節する

- 仕上がりの強弱を調節できます。



仕上がり
調節表示

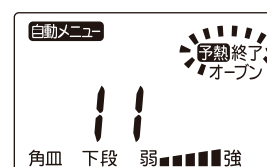
4 スタートボタンを押す

- 予熱がスタートします。
- 予熱の間は**予熱**が点滅します。



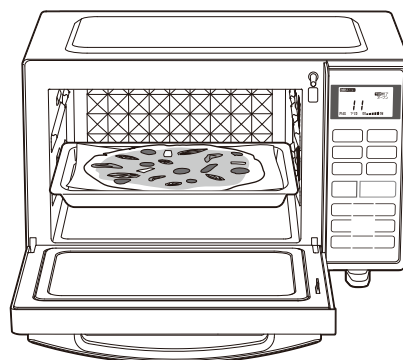
※ 予熱中にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。

- 予熱が終了すると、「ピッ♪」と2回鳴って**予熱終了**が点滅します。



5 予熱が終了したら、角皿に食品をのせてセットする

- 扉を開けると、**予熱終了**は消灯します。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。

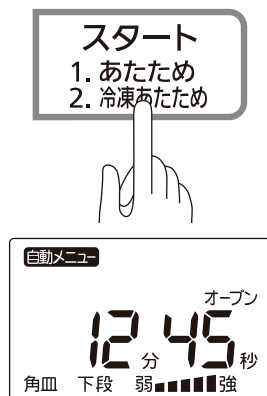


- 11 (ピザ) は、角皿にクッキングシートを敷いて冷蔵のピザをのせ、下段にセットしてください。
- 14 (クッキー)・15 (ケーキ)・17 (茶碗蒸し) は、クッキングガイド (P34 ~ 35) を参考にして食品を角皿にのせ、下段にセットしてください。

使いかた センサーオートメニュー（その他） つづき

6 スタートボタンを押す

- ・調理がスタートし、残り時間が表示されます。
- ※ 予熱終了後、**スタート**ボタンを押さずに10分以上放置すると、音が鳴って操作はキャンセルされます。



- ※ 調理スタート後は、**とりけし**ボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。
- 一時停止中は**スタート**ボタンを押すと加熱を再開します。

- ・加熱が終了すると、「ピッ ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱後は角皿・容器などが熱くなるので、食品を取り出すときはミトンやふきんなどを使用してください。
- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるのでやけどに注意してください。

センサーオートメニュー一覧

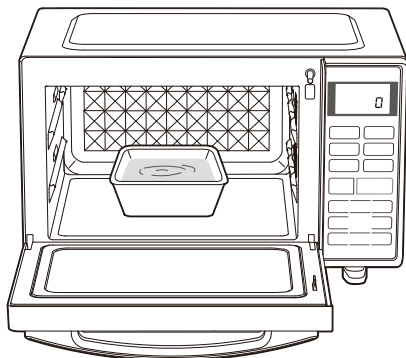
表示	メニュー		分量	使用加熱方法	調理時間の目安	参照ページ	クッキングガイド
1	あたため		100～300g	レンジ	—	P15	—
2	冷凍あたため		100～300g	レンジ	—		—
3	デイリーメニュー	お弁当あたため	300～400g	レンジ	—	P16	—
4		お惣菜あたため	100～300g	レンジ	—		—
5-1		牛乳	1杯	レンジ	約1分25秒		—
5-2			2杯		約2分40秒		
5-3			3杯		約3分40秒		
6-1		お酒	1杯	レンジ	約50秒		—
6-2			2杯		約1分30秒		
6-3			3杯		約2分		
7	野菜の下ごしらえ	葉・果菜	100～500g	レンジ	—	P17	—
8		根菜	100～500g	レンジ	—		—
9	解凍	肉・魚の解凍	100～500g	レンジ	—	P18	—
10		さしみ	100～500g	レンジ	—		—
11	お惣菜	ピザ	1個（約250g）	オーブン	約7分	P21	—
12		グラタン	2人前	オーブン	約13分	P20	P32
13		カレー・煮物	2人前	レンジ	約40分	P20	P33
14	お菓子パン	クッキー	約20枚分	オーブン	約13分	P21	P34
15		ケーキ	1個	オーブン	約27分	P21	P34
16-1		トースト	1枚	オーブン	約8分15秒	P19	—
16-2			2枚		約9分30秒		
16-3			3枚		約10分45秒		
16-4			4枚		約12分		
17	蒸しもの揚げもの	茶碗蒸し	4人前	オーブン	約40分	P21	P35
18		フライオープン	200g（冷蔵品）	オーブン	約7分	P20	—

使いかた 手動メニュー (レンジ)

手動で出力と時間を設定して加熱します。

1 食品を入れる

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品を耐熱性の容器に入れて庫内に入れ、扉を閉めます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



- レンジ加熱を使用します。付属の角皿・金属製の容器は使えません。(→P7～8)
- 量が多いときは、少量ずつに分けて加熱してください。
- ごはんやカレーなどは、平たく均一に1人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ラップの使いかたについては25ページを参照してください。

2 レンジボタンを押す

- レンジボタンを押すたびに出力が切り替わります。



→ 900W → 600W → 500W → 200W

- ※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

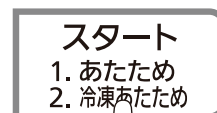
3 時間・重量設定ボタンで、時間を設定する



- 900W※・600W・500Wは20分まで、200Wは60分まで設定できます。
- ※ 900Wは短時間高出力機能（最大2分）であり、調理中自動的に600Wに切り替わります。

4 スタートボタンを押す

- 加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- 残り時間表示中は、レンジボタンを押すと設定出力が3秒間表示されます。
- ※ とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。
- 加熱が終了すると、「ピッ ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 手動メニュー（レンジ） つづき

■レンジ加熱の目安

あたため レンジ 600Wで加熱する場合の目安です。

食品・食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
ハンバーグ	1個 (80g)	—	約1分	
ハンバーグ (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分30秒	加熱後、2～3分ラップをしたまま蒸らす
焼きとり	6本 (150g)	—	約1分	照りを出すため、先にたれを塗る
てんぷら・フライ	1人前 (150g)	—	約1分	キッチンペーパーやてんぷら敷き紙の上に、重ならないように並べる
 注意 ●いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。				
フライ (冷凍)	4個 (100g)	—	約1分30秒	皿に並べる
焼きそば・スパゲッティ	1人前 (200g)	—	約1分30秒	加熱後かきまぜる また、ぱさついているときはサラダ油かバターを少しまぜる
ピラフ (冷凍)	1人前 (250g)	する	約4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく
ごはん (冷凍)	1杯 (150g)	する	約2分30秒	
焼きおにぎり (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分	
おにぎり	1個 (80g)	—	約30秒	
まんじゅう	1個 (65g)	—	約20秒	あんが熱くなるので、控えめに加熱する
肉まん・あんまん	1個 (110g)	する	約40秒 (冷凍品は約1分～1分30秒)	底の紙を取って、さっと水にくぐらせ、1個ずつゆったりとラップに包む
 注意 ●あんまは、先にあんが熱くなり、3分以上 (冷凍品は4分以上) 加熱すると発煙・発火のおそれがあります。				
しゅうまい (冷凍)	1袋 (230g)	する	約3分	両面に水をふりかける
みそ汁	1杯 (150g)	する	約1分	加熱前と加熱後にかきまぜる
煮物	1人前 (200g)	する	約1分30秒	
カレー・シチュー	1人前 (200g)	する	約1分30秒	加熱後かきまぜる
丼もの	1人前 (350g)	する	約2分	
牛乳 (冷蔵)	1杯 (200mL)	—	約1分30秒	加熱前と加熱後にかきまぜる
お酒 (常温)	1本 (180mL)	—	約1分	加熱前と加熱後にかきまぜる
茶碗蒸しのあたため	1個	—	30～60秒	様子を見ながら加熱する
ロールパンのあたため	2個 (80g)	—	約20秒	時間が経つと固くなるので、食べる直前に加熱する
今川焼き (冷凍)	1個 (90g)	する	約1分30秒	
ミックスベジタブル (冷凍)	100g	する	約1分30秒	
 注意 ●小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜がひたるくらいの水を入れ、ふたをして加熱してください。 (にんじん50g+水50mLで約2分)				
里いも (冷凍)	300g	—	約10分	

※ レトルト食品などで500Wが推奨されている場合は、レンジボタンで500Wを選んでください。

ラップの使いかた

ラップをするもの

- ・ 煮物、蒸しもの、汁もの、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・ 具の多いスープなど、はじけるおそれのあるもの

ラップをしないもの

- ・ ごはんもの、揚げもの、焼きもの、炒めものなど、水分を飛ばし気味にしたい場合

- ・ ラップは容器をゆったりとおおい、食品・食材に沿わせます。余裕がないと破れることがあります。
- ・ 油分の多い食品を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えることがあるので注意してください。

ゆで野菜 レンジ 600Wで加熱する場合の目安です。

食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
じゃがいも さつまいも	150g	する	約3分	まるごと加熱するときは、庫内中央を避けて置く
にんじん	200g	する	約6分	用途に合わせて切り、容器に入れてひたるくらいの水を加え、ふたかラップをする
だいこん	200g	する	約4分	大きさをそろえる
キャベツ・白菜	200g	する	約2分30秒	太い芯はあらかじめそいでおく
ほうれん草	200g	する	約2分	葉と茎を交互に重ねてラップに包む
カリフラワー ブロッコリー	200g	する	約2分30秒	小房に分け、あらかじめ食塩水につけておく
グリーンアスパラガス	200g	する	約2分30秒	根元の固い皮を取り、あらかじめ軽く塩でもんでおく



警告

- 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。



注意

- 加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますので注意してください。

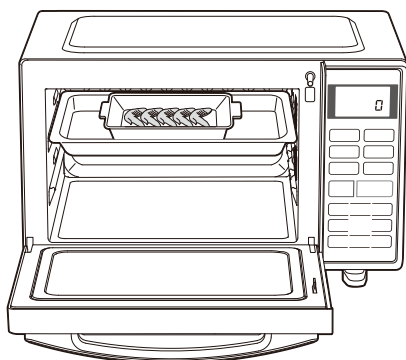
使いかた 手動メニュー（グリル）

手動で時間を設定してグリル調理します。

※ 温度は設定できません。手動で時間を設定して調節してください。

1 食品を入れる

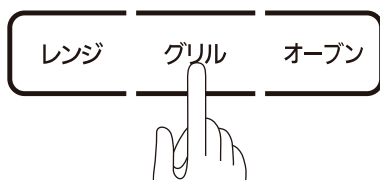
- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品を耐熱性の容器に入れて付属の角皿にのせ、角皿をセットして扉を閉めます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



- ヒーター加熱を使用します。使用可能な容器については7～8ページをご覧ください。
- 付属の角皿を使います。

2 手動メニューのグリルボタンを押す

- 加熱時間の設定表示になります。



※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間・重量設定ボタンで、時間を設定する



- ・ 30分まで設定できます。

4 スタートボタンを押す

- 加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



※ とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。

- ・ 加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。

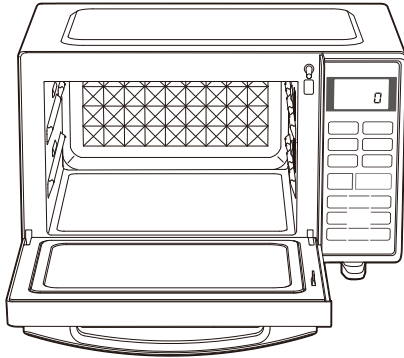
使いかた 手動メニュー（オーブン）

■ 予熱ありメニュー

手動で温度と時間を設定してオーブン調理します。予熱をして、庫内温度を上げてから調理します。

1 扉を開けて電源を入れる

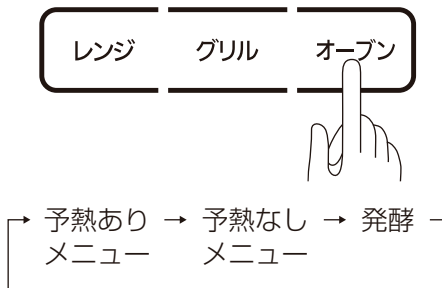
- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品を入れずに扉を閉めます。



- ヒーター加熱を使用します。使用可能な容器については7～8ページをご覧ください。
- 付属の角皿を使います。

2 手動メニューのオーブンボタンを1回押す

- オーブンボタンを押すたびに、メニューが切り替わります。**予熱** オープンを選ぶと、予熱ありのオーブン調理の温度設定画面になります。



- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 仕上がり調節／温度設定ボタンで温度を設定する

- 100～250℃の範囲で設定できます。
- ※庫内温度が高いときは、設定範囲が100～210℃になります。



4 スタートボタンを押す

- 予熱がスタートします。
- 予熱の間は**予熱**が点滅します。



※調理を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

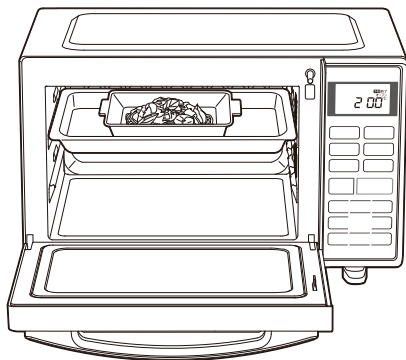
- 予熱が終了すると、「ピッ♪」と2回鳴って**予熱終了**が点滅します。



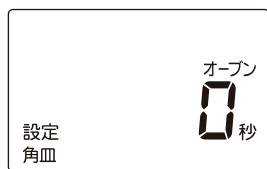
使いかた 手動メニュー（オープン） つづき

5 予熱が終了したら、角皿に食品をのせてセットする

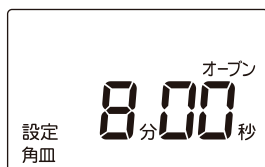
- 扉を開けると、**予熱終了**は消灯します。
- 食品は耐熱性の容器に入れて付属の角皿にのせ、角皿を上段または下段の角皿受けにセットして扉を閉めます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



- 調理時間の設定表示になります。



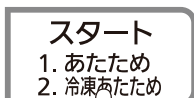
6 時間・重量設定ボタンで、時間を設定する



- 90分まで設定できます。

7 スタートボタンを押す

- 調理がスタートし、残り時間が表示されます。



- 残り時間表示中は、**オープン**ボタンを押すと設定温度が3秒間表示されます。

※残り時間表示中は、**とりけし**ボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。

一時停止中は**スタート**ボタンを押すと加熱を再開します。

- 調理が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



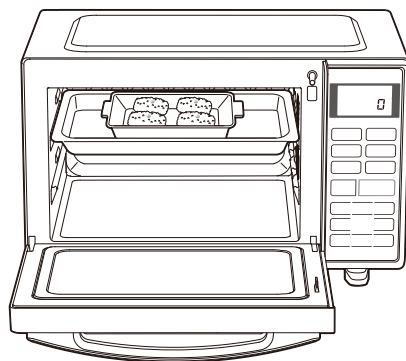
- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。

■予熱なしメニュー

手動で温度と時間を設定してオープン調理します。予熱をせずに調理を開始します。調理後で庫内温度が上がっているときや、食品を低温から調理するとき 사용합니다。

1 食品を入れる

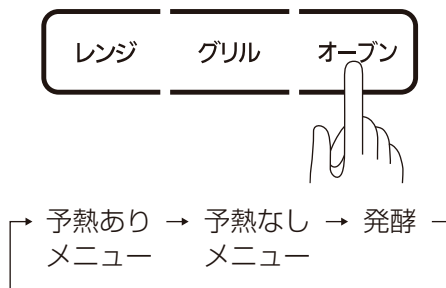
- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品を耐熱性の容器に入れて付属の角皿にのせ、角皿を上段または下段の角皿受けにセットして扉を閉めます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



- ヒーター加熱を使用します。使用可能な容器については7～8ページをご覧ください。
- 付属の角皿を使います。

2 手動メニューのオープンボタンを2回押す

- ・オープンボタンを押すたびに、メニューが切り替わります。オープン（予熱は消灯）を選ぶと、予熱なしのオープン調理の温度設定画面になります。



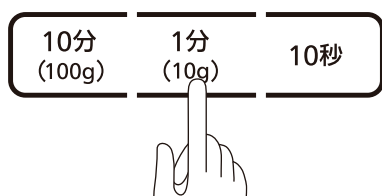
- ※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 仕上がり調節／温度設定ボタンで温度を設定する

- ・100～250℃の範囲で設定できます。
- ※ 庫内温度が高いときは、設定範囲が100～210℃になります。



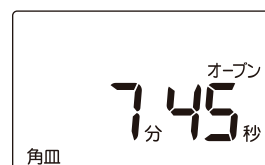
4 時間・重量設定ボタンで、時間を設定する



- ・90分まで設定できます。

5 スタートボタンを押す

- ・調理がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・残り時間表示中は、オープンボタンを押すと設定温度が3秒間表示されます。
- ※ 残り時間表示中は、とりけしボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。一時停止中はスタートボタンを押すと加熱を再開します。
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。

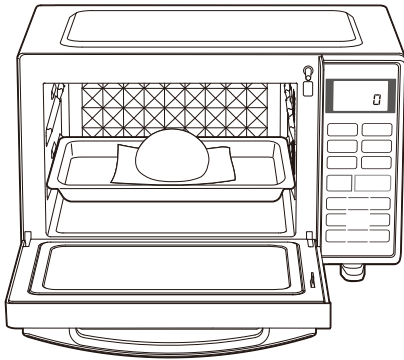
使いかた 手動メニュー（オーブン） つづき

■発酵

低温でオーブン加熱して食品を発酵させます。

1 食品を入れる

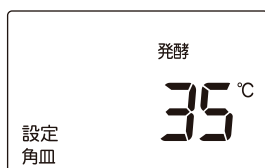
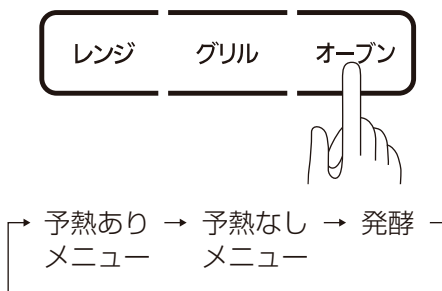
- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 角皿に食品をのせ、上段または下段の角皿受けにセットして扉を閉めます。
- 食品は霧吹きなどが必要な場合はあらかじめ済ませて、乾燥しないようにラップなどをかぶせてください。
- 食品は発酵するとふくらむので、間を空け、均等に配置してください。



- ヒーター加熱を使用します。使用可能な容器については7～8ページをご覧ください。
- 付属の角皿を使用します。

2 手動メニューのオーブンボタンを3回押す

- オーブンボタンを押すたびに、メニューが切り替わります。**発酵**を選ぶと、発酵の温度設定画面になります。



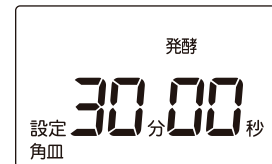
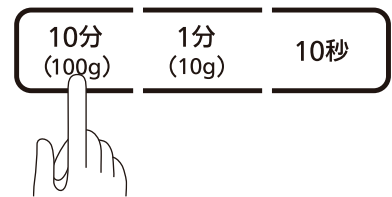
- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 仕上がり調節／温度設定ボタンで温度を設定する

- 35℃または40℃に設定できます。



4 時間・重量設定ボタンで、時間を設定する



- 90分まで設定できます。

5 スタートボタンを押す

- 加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- 残り時間表示中は、**オーブン**ボタンを押すと設定温度が3秒間表示されます。
- ※庫内温度が高いときは、**高温注意**が点滅し、加熱はスタートしません。
このようなときは、**とりけし**ボタンを押し、庫内が十分冷えてから再度操作してください。
- ※夏場など室温が高いときは、庫内温度が低くならず、加熱がスタートできないことがあります。



お手入れ

- ※ **とりけし**ボタンを押すと、加熱は一時停止します。もう一度ボタンを押すと加熱は停止して最初の状態に戻ります。
一時停止中は**スタート**ボタンを押すと加熱を再開します。
- 加熱が終了すると、「ピッ ♪」と5回鳴ってお知らせします。



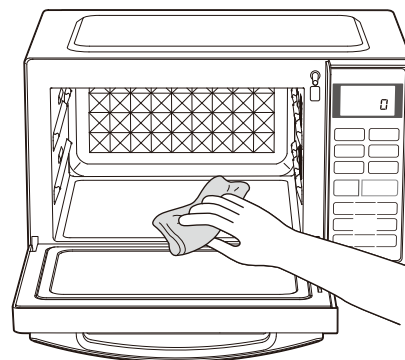
注意

- お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
- 食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。

- 使用後は早めにお手入れしてください。
- みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

本体・庫内

よくしぼったふきんで拭く



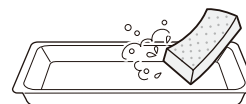
注意

- 庫内は汚れがついたままにしないでください。火災の原因になります。

角皿

薄めた台所用洗剤で洗い、水で流す

- 洗った後、よく乾かしてください。



クッキングガイド

※ 容器の種類や大きさ、食材の温度によって仕上がりが異なることがあります。仕上がり調節／温度設定ボタンで調節してください。

※ 写真はイメージです。

グラタン



オープン

センサーオート
メニュー

12



材 料 (2人前)

マカロニ..... 40g 牛乳..... 200mL
塩・こしょう..... 適量 ナチュラルチーズ(ピザ用)... 40g

A

たまねぎ(薄切り).. 中1/4個(50g) じゃがいも..... 25g
むきえび..... 100g バター..... 10g
牛乳..... 大さじ1

B

バター..... 15g 薄力粉..... 15g

作りかた

- 1 マカロニを柔らかくなるまでゆで、水気を切る。
- 2 耐熱ガラス製のボウルにAを入れ、庫内中央に置いて、手動メニューのレンジ 600Wで2分30秒加熱する。

3 別の耐熱ガラス製ボウルにBを入れ、庫内中央に置いて、手動メニューのレンジ 600Wで50秒加熱し、取り出して泡立て器でよく混ぜ合わせる。

4 3に牛乳を少しずつ加え、さらに混ぜ合わせる。

5 4を庫内中央に置き、手動メニューのレンジ 600Wで、だまにならないように途中2～3回混ぜ合わせながら、2分30秒加熱する。

6 5に、2とマカロニを加えて混ぜ合わせ、塩・こしょうで味をととのえ、グラタン皿に等分に入れる。

7 チーズをのせ、角皿にのせて下段にセットし、お惣菜ボタンで「12」を選んでスタートボタンを押す。

※ レンジ加熱中は、角皿は使用できません。

カレー（チキンカレー）



レンジ

センサーオート
メニュー
13



材 料 （2人前）

とりもも肉..... 100g	じゃがいも..... 100g
にんじん..... 50g	たまねぎ 70g
固形ルー..... 2皿分	水 250mL

作りかた

- 1 とりもも肉は一口サイズに切る。
- 2 にんじんは半月切り、じゃがいもは乱切り、たまねぎは薄切りにする。
- 3 耐熱ガラス製のボウルに水と細かく刻んだルーを入れ、ラップをして、手動メニューの**レンジ 600W**で**4分**加熱する。
- 4 加熱終了後、混ぜてルーを溶かす。

5 4 ににんじん・とり肉・じゃがいも・たまねぎの順に入れ、混ぜ合わせる。

6 ふんわりとラップをして庫内中央に置き、**お惣菜**ボタンで「**13**」を選んで**スタート**ボタンを押す。

7 煮込み後、全体をよくかきまぜて完成。

煮物（肉じゃが）



レンジ

センサーオート
メニュー
13



材 料 （2人前）

豚ばら肉（薄切り）... 100g	糸こんにゃく..... 80g
にんじん..... 50g	じゃがいも..... 150g
たまねぎ..... 60g	絹さや 適量

A

だし汁 70mL	砂糖 大さじ1½
しょうゆ..... 大さじ1½	酒 大さじ1½
すりおろししょうが.... 少々	

作りかた

- 1 豚肉は食べやすい大きさに、にんじんとじゃがいもは小さめの乱切り、たまねぎは薄切りにする。糸こんにゃくは食べやすい大きさに切り、ゆでてあく抜きをしておく。

2 耐熱ガラス製のボウルににんじんを入れ、上に豚肉をちらしながら並べる。さらに、じゃがいも・糸こんにゃく・たまねぎの順に入れ、合わせておいた**A**を加える。

3 ボウルにふんわりとラップをして庫内中央に置き、**お惣菜**ボタンで「**13**」を選んで**スタート**ボタンを押す。

4 加熱が終了したら一度ラップを外し、ゆでた絹さやを加えてよく混ぜ合わせる。

5 再びラップをし、5分蒸らして完成。

クッキングガイド

クッキー



オープン

センサーオート
メニュー
14



材 料 (約20枚分)

薄力粉 110g バター 50g
砂糖 35g 卵 1/2個

作りかた

- 1 薄力粉をふるっておく。
- 2 室温で柔らかくしておいたバターに砂糖を加えて、なめらかになるまでよくすりませる。
- 3 2に、溶いた卵・ふるった薄力粉の順に、まぜながら加えていく。
- 4 ひとまとめにした生地をラップに包み、冷蔵庫で20分ほど休ませる。

- 5 麺棒で生地を5mm程度の厚さにのばし、直径5cmくらいの丸型で抜く。
- 6 お菓子 パンボタンで「14」を選んで、スタートボタンを押す（予熱）。
- 7 角皿にクッキングシートを敷いて 5 を並べ、お知らせ音が鳴って予熱が終了したら、下段にセットしてスタートボタンを押す。
- 8 焼きあがったら、網の上で冷ます。

ケーキ（スポンジケーキ）



オープン

センサーオート
メニュー
15



材 料 (直径18cm)

薄力粉 90g 卵 3個
砂糖 90g 牛乳 大さじ1
バター 15g

作りかた

- 1 金属製型（直径18cm）内側の底と周りにバター（分量外）を薄く塗り、クッキングシートを敷く。
- 2 耐熱ガラス製のボウルにバターと牛乳を入れ、手動メニューのレンジ 200Wで1分加熱する。
- 3 別の容器で室温に戻した卵を泡立て、砂糖を2回に分けて入れながら、文字が書けるようになるまでさらに泡立てる。

- 4 3に薄力粉をふるい入れ、へらで粉っぽさがなくなるまでまぜ、2を加えて手早くまぜ合わせる。
 - 5 4を型に流し込み、10cmくらいの高さから落として空気を抜く。
 - 6 お菓子 パンボタンで「15」を選んで、スタートボタンを押す（予熱）。
 - 7 5を角皿にのせ、お知らせ音が鳴って予熱が終了したら、下段にセットしてスタートボタンを押す。
 - 8 焼きあがったら、すぐに20～30cmの高さから1回落として空気を抜き、底を上にして網の上に出し冷ます。
- ※ レンジ加熱中は、角皿は使用できません。

茶碗蒸し



オープン

センサーオート
メニュー
17



材 料 (4個分)

卵	3個 (150g)	とりもも肉.....	40g
酒	小さじ1	むきえび	4尾
しいたけ.....	1枚	ぎんなん (缶詰)	8個
水菜	適量		

A

だし汁	350mL	薄口しょうゆ..	大さじ1/2
みりん	大さじ1/2	塩	小さじ1/2

作りかた

- 1** 卵を割りほぐし、**A**を加えて泡立て器でよくまぜ合わせ、裏ごしする。
- 2** とりもも肉を2cm角に切り、酒につけておく。しいたけは薄切りにする。

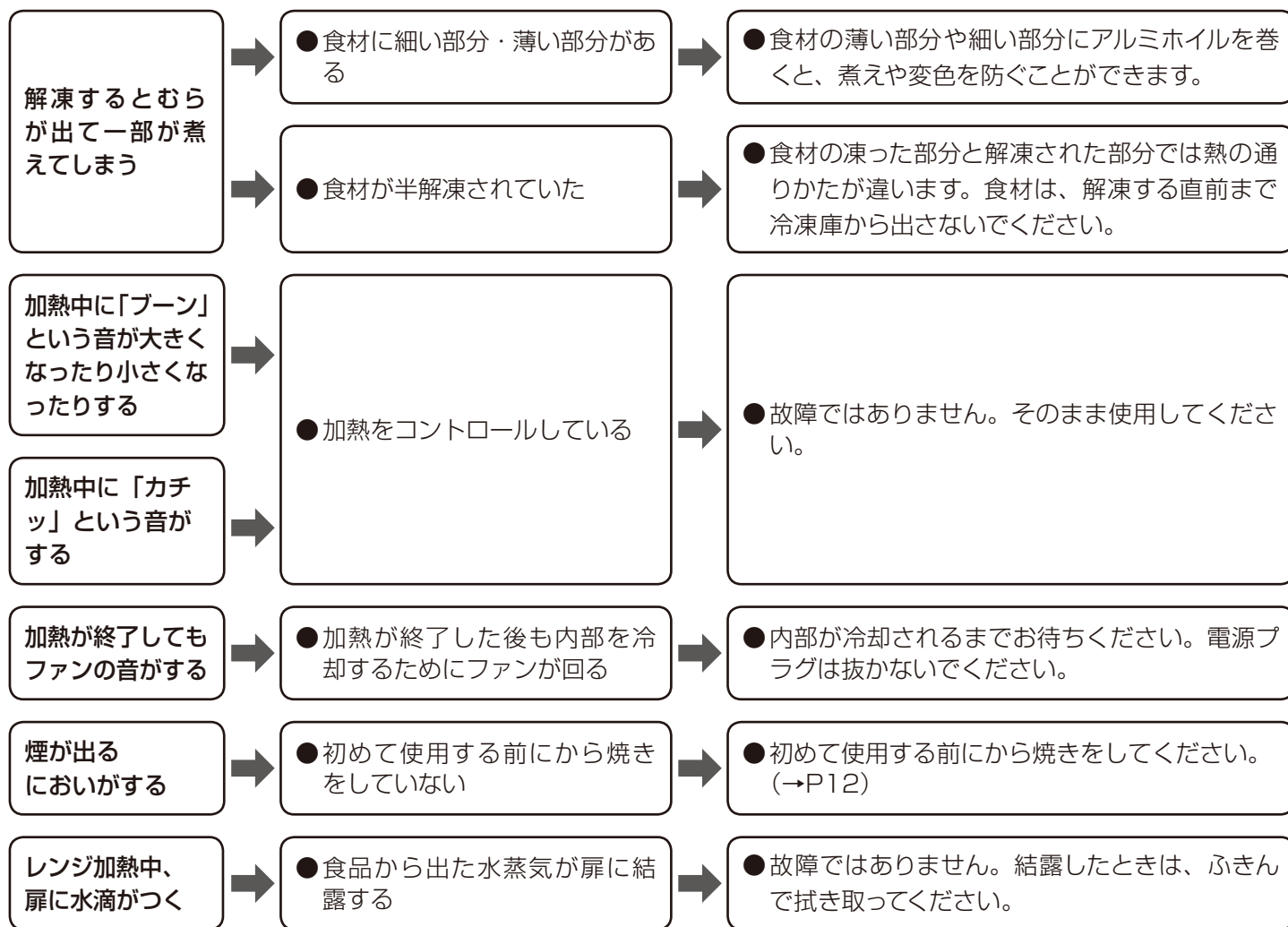
- 3** 水菜以外の具と **1** を4等分して、茶碗蒸しの容器に8分目まで入れ、ふたをする。
- 4** 蒸しもの 揚げものボタンで「17」を選んで、スタートボタンを押す（予熱）。
- 5** 50℃のお湯200mLを角皿に注ぎ入れて、**3** を角皿に並べ、お知らせ音が鳴って予熱が終了したら、下段にセットしてスタートボタンを押す。
- 6** 加熱終了後、取り出して、水菜をのせてふたをし、5分ほど蒸らす。

※ 加熱が足りないときは、角皿にお湯を足し、手動メニューの**オープン 170℃**で様子を見ながら加熱する。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (ボタンを押しても反応しない)	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●電源ブレーカーが入っていない	●安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
	●電源が切れている（表示が消えている）	●扉を開けて電源を入れてください。
加熱中に電源が切れる (ブレーカーが切れる)	●使用できる電気の量を超えている	●他の電気製品のスイッチを切る、別なブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	●扉がしっかり閉まっていない	●扉をしっかり閉めてください。
お知らせ音が鳴らない	●お知らせ音が切になっている	●とりけしボタンを3秒押して、お知らせ音を入にしてください。(→P13)
1分ごとに、「ピッ」と5回鳴る	●調理後、食品を取り忘れている	●扉を開けると音は止まります。庫内の食品を取り出してから、扉を閉めてください。
火花が出る	●アルミホイルが庫内壁面に近い	●アルミホイルを庫内壁面から離してください。
	●アルミホイルなどに鋭利な部分がある	●アルミホイルは鋭利な部分を作らないでください。(→P8)
	●金銀模様のある容器を使用している	●金銀模様のある容器は使用しないでください。(→P7)
	●庫内に食品かすなどが付着している	●庫内壁面をお手入れしてください。(→P31)
食品があたたまらない	●食品がアルミホイルなどでおおわれている	●食品をアルミホイルなどでおおうと、加熱されません。
	●庫内や容器に水滴がついている	●水滴に熱が吸収されると食材が十分にあたたまりません。水滴がついている場合は拭き取って使用してください。
	●冷凍品をあたためメニューであたためている	●冷凍品は熱が通りにくいので、冷凍あたためメニューを使用してください。



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源		AC 100V
定格周波数		50/60Hz
レンジ	定格消費電力	1,370W
	定格高周波出力	900W※1、600W、500W、200W相当
	発振周波数	2,450MHz
	タイマー	10秒～20分（900W、600W、500W）、10秒～60分（200W）
グリル	定格消費電力	830W
	ヒーター出力	上ヒーター：800W
	タイマー	10秒～30分
オーブン	定格消費電力	1,380W
	ヒーター出力	上ヒーター：800W、下ヒーター：550W
	温度調節	35 / 40℃（発酵）、100～250℃（庫内温度が高いときは210℃まで）
	タイマー	10秒～90分
外形寸法（ハンドル・突出部を除く）		幅485×奥行376×高さ302 mm
加熱室の有効寸法		幅283×奥行322×高さ192 mm
庫内総容量※2		約18L
製品質量（角皿含む）		12.0kg
区分名※3		B
電子レンジ機能の年間消費電力量※4		62.0kWh / 年
オーブン機能の年間消費電力量※4		10.6kWh / 年
年間待機時消費電力量※4		0.0kWh / 年
年間消費電力量※4		72.6kWh / 年

※1 高周波出力900Wは短時間高出力機能（最大2分）であり、調理中自動的に600Wに切り替わります。

※2 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※3 区分名は、家庭用品品質表示法及び省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※4 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食材の量によって左右されます。

コンセントに電源プラグを接続した状態で、表示部が消灯しているとき（待機時）の消費電力は0Wです。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

オープンレンジ MO-F1801-WPG

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間	
年 月 日				※付属品（角皿）を除く	
お客様	お名前			※販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話（ ） -				
			電話（ ） -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきまして次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール（通話料無料）

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール（通話料無料）

0120-311-564 **0800-170-7070**

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは（通話料無料） **0800-888-2600**

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください